

福岡

地域福祉活動職員の

まなこ

地域福祉活動推進のために

No. 80

2015年11月発行 福岡県地域福祉活動職員連絡会

所感

「住民主体」の「住民」とは誰のことなのか。

社協の都合で「住民」を決めていないか。

今一度、問い直すべき。

●福岡県地域福祉活動職員連絡会 会長 宿利幸史（志免町社協）



こだわりを持たずして

地域福祉の推進はありえない

「実践に臨む、つまり人が動く原動力は感覚です。憤りや悲しみとかせつなさ、それが人を動かす。その時にパツグポーンになるのは、理念や歴史認識であつたりすると思います。だから「社協の歴史を学び、社協とは何かについて考えることは大事です」

これは平成25年度に実施した研修会で講師が話された言葉です。

この言葉を聞き、社協ワーカーがこだわりを持たずして地域福祉の推進はありえないのではと考えさせられました。

社協は、民間団体であり、公益性を有した極めて特殊な組織。各社協によって

その取り組みも様々です。ただ一つ、「地域福祉の推進」を目的としているという共通項のもとで、活動しています。

しかし、同じ活動を展開するにも、どの様な視点で、住民とどう接し、どう活動へと結びつけているのか、ワーカーの原動力ともいえる熱い思いを持っているかという「個人の思い」が大きく影響すると考えられます。

先輩の思いを引き継いでいるか

社協の使命を振り返り、貫く

1960年の山形会議で「住民主体の原則」が打ち出されてから、55年あまりの月日が流れています。

先輩たちが築き上げてきた思いや大切な視点を、どれだけ引き継いでいるのか、またどう生かしているのか、疑問を抱くことがあります。

特に現在では、様々な福祉制度の改正が見られ、その社会の動きに添えられるのではなく、社協の使命を振り返り、今しなければならぬことを確認しながら、貫いていかなければいけないし、信念を

見失ってはけません。

しかし、組織内外において逆風が強く吹き荒れている状況も少なくない中、「ワーカーの思い」を熱く継続させていくというのは大変なことです。また、多様な福祉課題に対応していくための、多種多様な力が求められます。

だからこそワーカー自身のセルフヘルプが重要です。

社協ワーカーの悩みは、

社協ワーカーが共有できる

社協ワーカーの悩みは、社協ワーカーにしか共有できませんし、一人でできることには限界があります。

地域は違っても同じ社協ワーカーという、ただ一つの共通点を持っているだけで仲間意識が芽生え、同じ言葉で話すことができます。

時に悩みを相談し、議論し、新たな発見や自分の立ち位置を確認したり、色々な発想やアイデアをもらうこともできます。しかも、全国各地に社協があります。大企業であっても、全ての市区町村に支店があるということもあまりないのではないのでしょうか。

社協ワーカーが連携し、

広域な課題にも取り組む

また、現代社会においては生活圏域も拡大し、生活が自分の住む地域だけ

で完結する課題も少ないでしょうし、他の地域に住む親戚が、知人が、友人が実は困っていて……ということもありま
す。住民に連携を求める前に、ワーカー
自身がもっとその意義を確認し、連携
して行く必要はないでしょうか。

業務としてだけでなく、

ワーカー個人としても考える

今年度は住民主体の原則にとことん
こだわり、1993年度から関西社協
コミュニティワーカー協会(以下、関コ
ミ)が実施している「全国社協職員をつ
どい」が初めて関西から飛び出し、福岡
県で開催されることになりました。

関コミが持つこだわりの一つである
「ワーカーたるもの、社協を業務として
だけ捉えるのではなく、ワーカー個人
としても考え、動かなければいけない」
といった思いを受け継ぎ、実行委員会
を組織し、現在60名近くの熱いワー
カーたちが自主的に運営に携わり、内
容が検討されています。

現在あたりまえの様に「住民主体」と
いう言葉が使われていますが、「住民主
体」の「住民」とは誰のことなのか、社
協の都合で決めていないか。再度問い
直し、一人ひとりこだわりの持ったコ
ミュニティワークを展開していけるよ
う、全国のワーカーたちと切磋琢磨し
ていければと思います。

SOSに気づき、 問題にする



副会長 ト部善行
(筑後市社協)

SOSに気づいてほしいと願う人。
「どうせ誰も分かってくれない」とS
OSを出すことをあきらめている人。
自分が課題を抱えていることに気づい
ていない人。

地域にはこうした人がたくさんおられ
ます。こうした、SOSに気づき、それ
を地域社会の問題にしていくことが、社
協の基本的な役割だと思っています。

1人の課題？ それを考える



幹事 松尾大輔
(直方市社協)

バスの停留所で、3日間寝泊りした方
と出会った。手持金も住居もない。
ただ一つはつきりしていたことは「直
方で暮らしたい」という意思。

当事者との関わりで見えた様々な壁。
出会いの中で気づかされる、一つひと
つの壁が「一人の課題なの？」と考える
視点が私たちには必要だと思ふ。

命あつての 福祉



幹事 建部正雄
(香春町社協)

ようやく目に付き始めた、命に関わる
深刻な課題を抱える家庭の存在。そのよ
うな家庭に限って、既存の制度や支え合
いの輪から取り残されている傾向が。
命あつての福祉。

自らの立ち位置や優先順位を見誤らな
いよう心掛け、支援の仕組みづくりにな
めたいと思っています。

1人の 住民としても



幹事 中川史高
(うきは市社協)

住民になにかを伝えるとき、伝える側
の「私」は住民の中に含まれているのだ
ろうか？

こんなことを考えることがあります。
時には、職員以外の別の顔で話をしたほ
うが伝わることもあるように思います。
そのためには社協職員だけでは
色々な顔・つながり・生活感を持つこと
が大切だと感じています。

信頼される 社協ワーカーに



幹事 藤本直子
(北九州市社協)

「わがまちを良くするために」一生懸
命活動している福祉協力員や民生委員・
児童委員の方達に、困った時に相談して
もらえ、信頼される存在。

「あなたがそういうなら私たちもやっ
てみようか」

地域の方からそう言ってもらえるよう
な社協ワーカーに、皆さんと一緒になり
たいと思います。

「No」と言わない 社協ワーカー



幹事 藤野圭亮
(久山町社協)

私たち社協ワーカーは、様々な課題を
抱える多くの地域住民と出会います。

課題を抱えた本人や家族、もしくは地
域住民等から相談を受けた時に「No」と
言ってしまったら、その人はどこを頼っ
たらいいのでしょうか…。

できない理由を考えるのではなく、
様々な可能性から「できること」を考え
ていく必要があると思います。

「取り残された課題」とどう向き合うか？



取り組みやすい課題への焦点化、 活動の固定化・・・

これで良いのか？社協！！
社協内連携・社協間連携で
新しい風を吹き込む！

とき 2015年5月1日(金) 14:00～17:00
ところ クローバープラザ

5月1日、異地職連総会終了後、福岡県立大学准教授の村山浩一郎さんをお招きし、「地域に取り残された課題を考慮する」をテーマとした研修会を開催。課題に向き合うための方法について、参加者同士で知恵を出し合いました。

■報告 建部正雄／香春町社協

はじめに、講師より「なぜ、今『取り残された課題』に目を向けるのか」という趣旨の発題をいただきました。内容は次のとおりです。

「取り残された課題」とは何か

「取り残された課題」とは何か。まず、何から取り残されるのかを考えたとき、制度や公的な福祉サービス・支援をはじめ、住民を主体とした地域福祉活動や既存の当事者活動等が考えられる。本研修ではフォーマル・インフォーマルを含めて、支援につながっていない課題と定義する。

孤立、制度の狭間、排除・・・

課題の潜在・深刻化を招く要因

では、なぜ取り残されるのか。「取り残されやすい課題」の特性として、①「少数の人だけに発生している課題」、②「社会的孤立を背景とする課題」、③「制度の狭間にある課題や制度では対応できないような課題」、④「社会的排除」や対立に関わる課題などがある。自発的に支援を

求めることが困難な状況があれば課題は潜在化しやすく、課題の存在に周囲が目を向けようとしないうことが状況を深刻化させてしまう。

制度福祉の限界や欠点

住民参加の限界について考える

制度福祉の限界や欠点として、贈える範囲や視野の限定性及び事後的・受動的アプローチにならざるを得ないこと等が挙げられる。

住民参加の限界とも言える「取り組みやすい課題への焦点化」や「活動の固定化」といった問題も、課題が取り残される要因として考えられる。

住民参加活動は担い手の取り組みやすさといった視点から組織化されているため、組織化が自己目的化してしまいがちであることを認識する必要がある。

社協の今日的役割は？

課題の発見・支援の仕組みづくり

社協の役割は「地域に取り残された課題」を拾い上げ、問題提起し、解決に向けた取り組みを推進することである。

地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組みづくりを行うこと。そのために、従来の「コミュニティ」や個別支援の実践を基盤にアウトリーチを徹底し、制度の狭間や支援につ

ながりにくい生活課題を発見し、解決に向けた事業展開と支援のネットワークづくりに取り組みが必要がある。

取り組みの要点

取り組みの要点は次の通り。なお、取り組みに際しては「社協内連携」や「社協間連携」を視野に入れることが重要である。

- ①課題の発見、応急的な個別支援から「地域を基盤とした個別支援」への展開
- ②「課題」の明確化・共有化・社会化による、地域が対応すべき「地域課題」への転換（公共的な課題として設定していくための工夫として）
- ③新たな組織化や社会資源の開発・ソーシャルアクション等々の技法を用いた「地域課題」の解決に向けた地域支援。

課題に気づき

共有できる場づくりが大切！

講師による話題提起の後、「地域に取り残された課題への対応」というテーマで演習を行いました。

研修を通じて、課題を課題と思えるようなアウトプット機会を意識的に設定することの必要性や課題を共有化していくことの大切さを再確認しました。「連携」という言葉の意味をかみしめ、自らの実践を積み重ねていきたいものです。

実習生ディスカッション交流会



内容は、下記の8つのテーマを用意し、それぞれの場面で住民向けのお話をするというもの。事前に学生さんからのテーマでお話をするか希望をとり、それぞれ準備していただきました。

実習生には、「私がコミュニティワーカーだったら？」を体験できるように、住民相手に語るように、地域福祉を分かりやすく伝えていたたくよう工夫していただき、その他の参加者は住民役となってお話を聞きました。

当日は県内から6社協13名の実習生が参加されました。

筑後市社協の実習生は「子ども会」の場面を選び、子どもと保護者がいるとい

福祉は誰もが幸せになること。
だから、皆さん一人一人も
つらい時や悲しい時には、
誰かに寄り添われていいんです。

とき 2015年8月31日(月) 10:00～16:00
ところ 志免町総合福祉施設シーメイト

社会福祉士を目指す学生さんが実習に来る。そんな社協も多いのではないのでしょうか。

実習生の方たちは、社協の仕事やワーカーの思いに触れ、大いに刺激を受けていることと思います。

一方、社協の事業は伝えられても、コミュニティワークをどう伝え、コミュニティワーカーをどう体験してもらうかということに、頭を悩ませることも多々あるのではないのでしょうか。

そこで、実習をさらに充実したものにするために、またコミュニティワーカーを体験する一つの方法として、社協の実習生によるディスカッション交流会を行いました。

■報告/ト部善行(筑後市社協)

(設定)

あなたは新人コミュニティワーカーです。ある日、地域の団体から、「今度の会合の時に福祉の話をしてほしい」と依頼を受けました。あなたは、住民に短時間で分かりやすく伝えるために、趣向を凝らした発表をしようと、張り切るのです。

地域団体	テーマ
行政区	気軽にご相談ください ～私たちの地域の社会福祉協議会～
老人会	あなたの身近に困っている人はいませんか？
地区社協	1人暮らし高齢者を支えるために 地域でできること
企業	できることからチャレンジ！ Vo 活動を始めてみよう
福祉員等	お互い様の地域づくり ～あの人を支える視点～
Vo グループ	* 障害 * ってなんだろう?? 生きにくさはどこにある
民児協	認知症の方の行方不明を地域で防ぐには？
子ども会	「福祉ってなあに？」子ども向け福祉講座

う設定で、子ども向けの福祉教育をプレゼンされました。

その最後のまとめ。次のように話されました。

「誰かが困っていると、悲しい時に、その人に寄り添うことは大事。でも福祉は誰もが幸せになることなから、皆さん一人一人もつらい時や悲しい時には、誰かに寄り添われていいんです。つらい時、悲しい時は、遠慮せずに家族や身近な大人に『困っているんだ』と言っ

「困っているんだ」と言われた時は、「そんなことで悩むな」「みんな同じように悩んでいるんだから」と言わずに、その子の大切な問題として受け止めてほしいと思います」

実習中、子どもの頃にSOSを出せず苦しい思いをした人と出会っていただいたり、そうした人のことを紹介したことで、福祉教育の目指すものを改めて考えられたようです。

このように、当日に至るまでのプロセスを通して、学びを深めていただくことができた企画となりました。

中堅職員向け研修会～社協は「制度の狭間にある課題」とどう向き合うのか～



命を守るためには なりふり構わない。 ありきたりの方法ではなく 色々な角度で考える。

と き 2015年9月17日(木) 10:30～17:15
 ところ 福岡商工会議所 地下1階B1-a
 講師 高田浩行さん(箕面市社協/大阪府)

講師の高田さんからは、ご自身が支援に関わった事例を踏まえて、支援のポイントなどを分かりやすく講演していただきました。

■報告/藤野圭亮(久山町社協)

「普通は…」と自分の価値観や理想を押しつけない!

「この人への支援は、〇〇のようにするのが理想」だと、支援者自身が関わった過去の事例等の経験から考えがちになりますが、それは支援者主導の支援になっただけで、相手の思い込みを押し付ける必要はありません。

また、「普通は…」と自分の価値観を押しつけるのではなく、相手の普通に合わせて支援を心がけたいものです。

相手が考える「欠点」を

「肯定」した言葉に言い換える
 リフレーミングという考え方があります。これは、相手が考える「欠点」を肯定しながら前向きな言葉に換えることです。言い換えただけで相手の気持ちが変わることもあります。

このように支援者は、様々なコミュニケーションスキルを身につけていくことが大切です。

「ニーズがある」「心を動かす」

「禁止されていない」「

私が思う、社協活動のポイントは3つ

あります。①その活動にニーズがあること、②その活動が禁止されていないこと、③その活動が人の心を動かすこと。社協活動を実践していく中で、この3点を意識して活動を行っています。行政は、例え職員が動いたとしても、法律や条例、規則に基づいて支援を行わなければならない、できないこともあります。

しかし、社協はニーズがあれば、例え不平等であったとしても、自由な発想で支援できるという強みがあります。

その人の命を守るためであったら、なりふり構わず、様々な角度から支援を考えていく必要があります。

「困難ケース」は

支援者がつくりだしている

何年かけてもその人の課題を解決できないこともあります。そのような場合によく「困難ケースだから…」という言葉を使うことで、何となく終わらせてしまっているのではないのでしょうか。

しかし、同様のケースでも他の地域のワーカーが解決できているとすれば、「困難ケース」は支援者がつくりだしているのかもしれない。「困難ケース」という言葉を解決できないことの言い訳に使ってはいけなないと思います。

「寄りきとセンス」が大切!

こんなケースがありました。訪問して

も玄関の扉を少ししか開けてくれない高齢の女性。ある日訪問したところ、扉の隙間から玄関に落ちてある「デイリースーツ」が見えました。

デイリースーツは阪神ファンだと感じ、阪神が勝った翌日に訪問するということを知りました。すると、扉を開けてくれるようになりました。

話を聴くと、身内は皆亡くなっており、昔から親に「他人の迷惑にならないように」と言われていたので、助けを求めることができなかったとのこと。それから関係性が構築でき、介護サービスに繋ぐことができました。

連携は目に見えない

だから役割分担をする

よく「連携」という言葉が使われます。しかし、連携は目には見えません。私は連携のことを「役割分担」と言っています。社協だけではなく、地域住民や関係機関と共に、1人の人間を支えていくことが大事だと思うのです。

そのためには、ネットワークが大事。「ネットワークはフットワークの足し算であり、ネットワークとは、電話1本でお願い・助けてくれる関係の事である」とある人に言われたことがあります。こうしたつながりは、中堅職員だからこそできるかもしれません。

第7回 九州4県社協職員合同研究会 in さが

社協の存在意義をサガそう

現実的な課題を踏まえつつも、社協職員同士で取り組んでいることを語り合い、社協職員として持っている“思い・気持ち”を改めて振り返り、「社協の存在意義はここだ」と各自が思い、明日への活力とすることを目的に開催します。明日の社協を想像するためには、社協で働く1人ひとりの思いが不可欠です！

とき 平成27年12月10日(木) 13:00～17:15
12月11日(金) 9:00～12:00

会場 グランデはがくれ (TEL 0952-25-2212)
佐賀市天神2丁目1-36

*情報交換会も同会場で行います。

対象者 社会福祉協議会役員等 100名程度

参加費 3,000円 (情報交換会費、別途5,000円)

主催 福岡県地域福祉活動職員連絡会
長崎県市町社会福祉協議会連絡協議会
大分県市町村社協職員連絡協議会
佐賀県市町社会福祉協議会職員連絡協議会

(初日) 12月10日(木) 13:00～17:15

1. 開会
2. 全体会
講義「社協のこれまでの歩みをふまえて」
●講師 中村秀一さん
九州大谷短期大学 福祉学科教授
3. 分散会
〔其の壱〕社協が必要と思ってもらえるための広報戦略
〔其の弐〕つくちゃおう！
オーダーメイドの地域づくり
～個別支援を通して～
〔其の参〕社協の“強み”って何？

4. 情報交換会

(12月11日(金) 9:00～12:00)

1. 分散会報告
2. グループワーク
3. まとめ
4. 閉会

問合せ 佐賀県社会福祉協議会まちづくり課
TEL 0952-23-2145 FAX 0952-25-2980

示すばい！社協の存在感

社協らしい社協を社協ワーカーたちがとことん見つめなおす・語りつくす、そんな社協職員のつどいに、あなたもぜひご参加ください！(下記、分科会参照)

主催 第18回全国社協職員のつどい実行委員会
(事務局：志免町社協 TEL092-937-3011)
関西社協コミュニティワーカー協会

第18回 全国社協職員のつどい

～もっと自由に、できる社協はできる～

とき 2016年2月27日(土) 12:30～17:15
2月28日(日) 9:30～15:30

会場 福岡市立早良市民センター
福岡県立ももち文化センター

対象 全国の社協職員(定員200名)

参加費 6,000円(予定) ◆交流会費(1日目):5,000円(予定)
◆弁当代(2日目):700円(お茶付)

①若手職員向け	HKT47・ホープ・キープ・トークン・～社協のセンターは君だ～
②主に管理職業務について語る	職員のやる気を撃っているのはお前だ！ ～職員のモチベーションを高め、社協を元気にするために～
③社協への挑戦状 「問われているのは誰？」	私の立ち位置を問う～いま、社協に求められていること
④社協だからできることを発信する！	生活困窮者支援制度からみる「期待される社協」になるために
⑤コミュニティワーク(調コミ企画)	やっぱり！コミュニティワークとちゃうん！？ ～アナタもワタシもコミュニティワーカーやねん～
⑥ファンドレイジング	朝まで！ファンドレイジング生討論 ～すぐ実践したくなるファンドレイジング分科会～
⑦社協ワーカーの原点	気づいちゃいるけど・分かつちゃいるけど・ 課題があるのは間違いない！1歩踏み出す気ばきと勇気
⑧不自由な集落問題を自由に語ろう	農山漁村(中山間僻地・島)の地域・産業構造の歪みにより生まれた生活課題は果たして社協が関わるべき課題なのか！関われる課題なのか！

＝社協広報の役割について考える研修会＝

【と き】 2015年12月4日(金)

13:00～17:00

【ところ】 大野城市総合福祉センター
(大野城市曙町2-3-2)

【案 内】

社協は広報誌をはじめとして、インターネットなども活用しながら多くの情報を発信していますが、広報を作成して「この役割は何?」と立ち止まってしまうことはありませんか?

社協広報には「地域の福祉に欠ける状態を明らかにする」など、お知らせや報告だけにとどまるとはいけぬ機能があると考えられます。

本研修では、社協が行うべきミッションを再確認しながら、社協広報に必要な視点について学習します。

【主 催】 福岡県地域福祉活動職員連絡会
福岡地区地域福祉活動職員連絡会

【内 容】

講演①「広報へのこだわりや私の視点」

講師 林慎治氏 宮若市 総合政策課

分科会 (①②どちらかを選択してください)

分科会①「企画～校正～発行まで、

広報で伝えたいこと」

分科会②「手に取りたくなる紙面づくり」

講演②「社協が忘れてはいけない視点」

講師 高石伸人氏

ちくほう共学会「虫の家」事務局長

【対 象】 広報担当者及び内容に関心のある方

【申込期限】 11月25日(水)までに下記へ

【その他】 各社協広報紙を15部持参ください。

【申込み・問合せ】

直方市社会福祉協議会

〒822-0034 直方市大字山部616-145

TEL 0949-23-2551 FAX 0949-23-2552

mail nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

編集後記

一 編集者のつぶやき

先日、福祉教育関連の研修会に参加しました。そこで「子どもに福祉をどう伝えようか」という話を聞きながら、これまで出会った人たちのことを思い出し、考え込んでしまいました。

「姉に障害があり、父は単身赴任。うつ病の母は姉に一生懸命。私は家で孤独だった。『何が正しいの?』とカウンセラーに尋ねられても、子どもの時の私には何が正しいのか説明できず、誰にも本音は話せなかった」という人。

「家が大変で私もきつい。先生に言うのと、話を聞くだけ聞いて一言、『誰だって家は大変なんだし、苦労しているのはお前だけじゃない』。二度と相談したくないと思った」という人。

「みんな違ってみんないい」と人権教育で語られる。その授業が大嫌いだ。『みんなと同じほうが良い』と思っていた。授業の直後、障害者を馬鹿にするような発言がクラスに飛び交う。私は兄に障害があることがばれると、私が馬鹿にされると思い、兄の存在を隠そうとばかりしていた。兄を隠そうとする自分に自己嫌悪を感じていた」という人。

「授業で発表ができない。僕は吃音なんです。思い切って先生に言った。『話しくいだけだろ?』と言われた。僕

にとつて吃音は一生の問題なのに……という人。

実際の学校現場でSOSを言うことができず、また、言う手段がなくなってしまう子がいる。そんな中、私たちは福祉教育という現場で学校に入った時、どのように立ち振る舞えばよいのだろうか。

「困っている人に優しくしよう」も大事です。しかし、『優しくされたことがない』と困っている子どもにそれを言うのは酷かもしれません。

子どもがSOSを出せる環境、子どものSOSに気づける環境が、家庭や地域にも必要なかもしれない。福祉教育のあり方を、一度見直してみようと思いました。(U・Y)

★発行者

福岡県地域福祉活動職員連絡会

★事務局

〒811-2202

福岡県糟屋郡志免町大字志免451番地1

TEL 092-937-3011

FAX 092-936-9067

E-mail chiiki02@shime-shakyo.or.jp

URL http://www.geocities.jp/

f_chishokuren/